

すべては子どもたちの笑顔のために



# 響

## No. 8

東信教育事務所だより

〒384-0006 小諸市与良町 6-5-5

TEL. 0267-31-0250 (代)

FAX. 0267-31-0140

<http://www.pref.nagano.lg.jp/toshinkyō/index.html>

平成 30 年(2018 年) 1 月 10 日(水) 発行



明けましておめでとうございます。平成 29 年度のまとめの 3 学期が始まりました。まだまだ寒い日が続きますが、体調に留意しながら充実した学期にしていきましょう。

ページ	シリーズ	内容	
No. 8 の 内 容	1 p	学校の組織づくり 1	・ 職員の意識の変化 (チーム A 小) へ
	2 p	授業改善のワンポイント 4 (特別活動) 授業のユニバーサルデザイン化	・ 「自分もよくて、みんなもよい」と思える合意形成を目指して ・ どの子ども「わかる」「できる」を目指す授業づくり (国語に寄せて)
	3 p	学級づくり・児童生徒理解 3 体力向上 3	・ 3 学期に留意する児童生徒指導のポイント ・ 学校全体で取り組む体力向上!
	4 p	生涯学習課から	・ 働き盛りのあなた! 運動できていますか?

### 学校の組織づくり 1

今回と次回に分けて、「学校の組織づくり」について考えていきたいと思えます。今回は**子どもの実態把握**をスタートにして、**支援・対応を考え全職員で実践**し、その結果、**学校(チームとして)の組織づくり(意識の変化)**が進んだ A 小学校の取組を紹介します。

#### 【授業を振り返ってみて】

話を聞く時間は集中力が途切れやすいけど、書く時は集中して取り組んでいるね。書くことが好きな子どもたちだね。

#### 【学校生活全般を振り返ってみて】

体育館への入退場は、おしゃべりは多いし、バラバラだね。ルールがそろっていると動ける子どもたちだと思うけど。



#### 子どもの実態把握

連学年で教材のつながりを確認した上で、「書く活動」を大切に授業を構想しよう。

支援・対応を考え全職員で実践する

入退場のルールを、もう一度全校で確認・統一することから始めよう。

「書く活動」を多く取り入れたことで、意欲的に学ぶ子どもの姿につながったね。

子どもの姿を通して取組を評価する

当番の声掛けをよく聞いて、静かに体育館へ入場する子どもたちになったね。

実践の手ごたえ → 職員の意識の変化(チーム A 小)

より深まりのある記述につながるように、今回は意見交換の場面も設定していこう。

次の実践へ

学級のルールも再確認していこう。

#### A 小学校の取組のポイント

- ① 子どもたちの課題ばかりでなく、強みを生かす指導を考える。
- ② 実現可能な取組を、全職員で実践する。
- ③ 取組を評価する場面を設定する。

## シリーズ 授業改善のワンポイント4

特別活動編

「自分もよくて、みんなもよい」と思える合意形成を目指して



学級会では、議題に対して「自分もよくて、みんなもよい」と思える合意形成を目指します。みんなの意見を大切に、折り合いをつけながら合意形成につなげていくための話し合いの視点（ポイント）を紹介します。

話し合いの視点（ポイント）

ポイント

提案理由に沿っているかどうか

少数意見を生かす方法はないか  
(両方できないか、次回できないかなど)

修正すれば賛成できそうな部分はないか  
(〇〇となれば賛成できそう)

似ているもの、一緒にできるものはないか

自分の考えより、よいものはないか

自分もよくて、みんなもよい(合意形成)

基本的には、多数決に頼らない、十分な話し合いによる合意形成を目指します。多数決をとる場合でも、

- ◇十分な話し合いがなされていること
- ◇多数決をとってよいことを、みんなで確認すること
- ◇多数決の結果をみんなが尊重すること

などを留意しましょう。

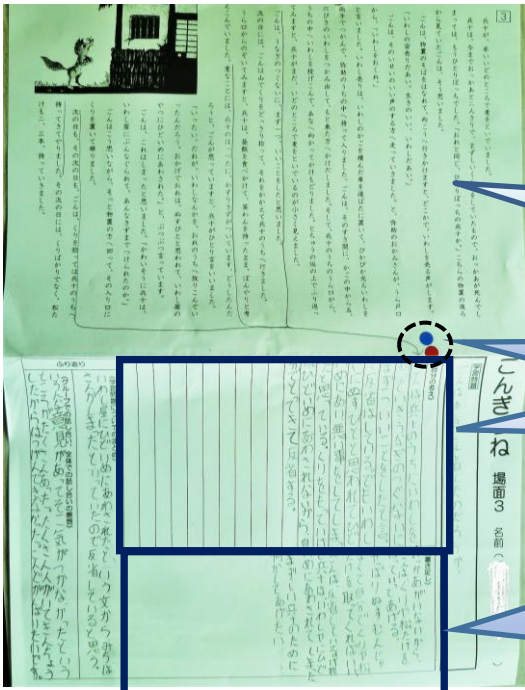


## 授業のユニバーサルデザイン化

どの子ども「わかる」「できる」を目指す授業づくり(国語に寄せて)



物語の読解の授業の時に、叙述と自分の考えを結びつけてまとめることができなかつたり、考えるのに時間がかかたりする子どもはいませんか？



☞黒板の拡大コピーや教科書だけでは、根拠となる叙述の、どこに着目し、どのように考えたのかを説明するのが苦手な子どももいます。

そこで、こんな工夫を

ノートの見開きを1時間の授業とし、上段に黒板の掲示と同じ叙述が示されています。

グループでの交流で「よい考えだ」と思ったら、シールを貼って友に伝え、認め合います。

根拠となる叙述に、印となる線を引き、そこから考えたことを線で結び付けて自分の考えをまとめていく欄。

グループでの交流や全体での共有から、自分の考えの参考にしたい友の考えを記入する欄。自分の考えと、叙述や友の考えとの関係が、手元で視覚的にわかりやすくなっています。

### 3学期に留意する児童生徒指導のポイント

3学期は、2学期までの学びを生かして学習に取り組んだり、様々な活動を通して得た充実感や達成感を次のステップにつなげたりする大事な時期です。落ち着いて、意欲的に学校生活を送っているように見えても、不安を抱えたり、無気力になったりする児童生徒もいるのではないのでしょうか。そこで、中学1年生を例に、この時期の指導のポイントを考えます。



落ち着いて学校生活を送っているように見えても…

教科学習でわからないことや苦手なことが増えてきたなあ。

行事がいくつかあるけど面倒だなあ。

クラス替えがあるけど、友だちとの関係が不安だなあ。

【ポイント】 個人面談の時間をもち、意欲的に学校生活を送れるように一緒に考えましょう。

- ◆冬休み明けに、12月の懇談会で話し合った3学期の目標について、確認する場を設けましょう。
  - \* 教科学習でどこが苦手か具体的に、学習方法をアドバイスする。
  - \* 卒業生を送る会や学習発表会に向かって、その目的や意義、一人一人の役割を明確にする。
  - \* 来年度について不安を抱えている児童生徒には、友だちとのかわりについてアドバイスする。
- ◆必要に応じて養護教諭や関係する職員と連携して支援にあたりましょう。
- ◆3月には、できたこと、がんばったことについて認める場を設けましょう。



### 「学校全体で取り組む体力向上！」

### 全校が動き出せる工夫をした K小学校の取組



④ 休み時間はよく遊ぶし、体育の授業が好きなお子も多けれど、体力向上が課題…



① K小学校は、こんな工夫をしています  
 ① 全校で取り組める**新しい活動**  
 ② 活動を効率よくつなぐ**仕組みづくり**

#### 朝の学活の工夫

##### 新1 ◆ 「1分間身体みがき体操」

- ・毎朝、全クラスが、教室で実施
- ・体育集会で紹介した体操を行う
- ・柔軟性、姿勢維持が主なねらい



#### 体育の授業での工夫

##### 新2 ◆ 授業始めのラジックを全学級で実施

- (ギャロップ、カンガルージャンプ、スキップなど)
- ◆ 全身を使った準備運動の工夫
  - ◆ 体づくり運動の充実

#### 外部講師の活用

- (講師：理学療法士)
- 月はじめに来校し、全校一斉に指導
  - 1年生、あおぞら学級には重点的に指導
  - 3年間継続の取組 (H29は1年次)

#### 体育集会の工夫

- 新1 ◆ 月ごとの身体みがき体操の紹介
- 新2 ◆ 基本の動きの紹介 (走・跳中心)
  - ◆ 全校一斉に体を動かす遊び (鬼遊び、ジャンケンすごろくなど)

#### 職員研修との関連

- (講師：体育係、事務所指導主事)
- 授業で使える運動メニューの紹介
  - 指導ポイントの共有

# 働き盛りのあなた！ 運動できていますか？

生涯学習課

学校・PTAなど向け

## おとなの運動研修に伺います

『県政モニターアンケート』の結果によりますと、成人の運動実施率の低下がここ数年課題になっています。特に働き盛りの20代～40代の実施率が低いことが問題となっています。健康で明るい生活を送るために、運動は不可欠です。

そこで、東信教育事務所では生涯学習課のスポーツ振興担当指導主事が職場を訪問し、皆様とともに健康維持増進のための実技指導を行います。職場や集団のコミュニケーションを高めることにも役立ちます。長い人生、健康で明るく過ごせるように運動を生活に取り入れましょう。

内容例

- ☆体力向上のための簡単トレーニング
- ☆昼休み、休憩時間にできるストレッチ
- ☆人間関係づくりのための運動・レク
- ☆手軽にできる運動の紹介 他



会議前、終業後、朝などの5～10分程度の短時間でも対応いたします。ウォーキングポールやニュースポーツ用具のレンタルもしています。

研修への生涯学習課指導主事派遣までの流れ

記入例  
→

- ①電話にて日程や内容の確認
- ②派遣申請をお送りください
- ③研修の事前確認（直前に）
- ④当日

平成 29 年（2017 年） 月 日  
東信教育事務所長 様

〇〇立〇〇学校長 〇〇〇〇

〇〇研修会の講師派遣について（依頼）

このことについて、下記のとおり開催します。

つきましては、貴所 指導主事 様を講師として派遣くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 平成 年 月 日（ ） : 00 ~ : 00
- 2 場所
- 3 内容(研修会名)
- 4 その他

社会教育

「信州型 CS 放課後学力アップ教室」の取組 <上田市立第一中学校>

上田市立第一中学校では、水曜日と一部活デーの木曜日の終業後1時間、学力保障や基礎学力定着のために、地域にお住まいの方々(5名)や大学生・短大生(13名)の皆さんが、学習支援ボランティアとして生徒の学習支援を行っています。

訪問した日も、生徒が参考書やワークブック等の内容について質問し、それに大学生が丁寧に答えたり、説明したりしていました。

校長先生は「支援は本当にありがたいです。家庭学習充実の動機づけになってほしいと思います。」と語っていました。



2017.11.02